

ブラジル特報



No.1671

2022年11月号

特集 独立 200 周年と文化

- ・独立 200 周年はブラジル音楽のメモリアル・イヤー
- ・小野ロザリア館長に訊く生まれ変わったイピランガ博物館の魅力



あの町この町
パラチー Paraty

0円

新規会員募集中!
詳しくは P21 をご覧ください。



一般社団法人 日本ブラジル中央協会

URL <http://nipo-brasil.org/> E-mail info@nipo-brasil.org

〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-2 明宏ビル本館 5 階 TEL:03-3504-3866 FAX:03-3597-8008 発行人: 大前孝雄/編集人: 岸和田仁

鉄とともに、人とともに。 私たちのSDGs

ふとまわりを見れば、社会は鉄でできたものにあふれています。様々なものづくりで暮らしを便利に快適にしたり、災害に備えインフラをより強く安全に変えたり、豊富な資源と高いリサイクル性で環境負荷を軽減したり…鉄はこれからも、人と地球の未来をささえる無くてはならない素材です。だからこそ、日本製鉄は鉄を進化させ続け、皆さまと力を合わせて持続可能な社会づくりに取り組んでいきたい。私たちのSDGsに、終わりはありません。

目次

あの町この町 パラチー [沼田行雄]	3
ブラジル・ナウ 10月2日の統一選挙(一次投票)結果から読み取れること [編集部]	5
【特集】独立 200 周年と文化 独立 200 周年はブラジル音楽の メモリアル・イヤー [中原 仁]	6
【特集】独立 200 周年と文化 小野ロザリア館長に訊く 生まれ変わったイピランガ博物館の魅力 [仁尾帯刀]	8
アマゾナス州発 森の番人とアマゾンの自然が生み出す 「野生のチョコレート」 [武田エリクス真由子]	10
ブラジル現地報告 Make Your Life GOSTOSO ④ [REI CAPOEIRAP]	12
連載・日系企業シリーズ 双日のブラジル事業 [志田 亨]	13
連載・ビジネス法務の肝 事業環境の改善を図る最近の法改正 [柏 健吾]	14
連載・勤どころ～税務&ホットトピック～ 日本への国際送金に係る税制度についての新たな通達 [ジュリオ・アシス/三上智大/天野義仁]	15
エッセイ ブラジルに暮らして10年 ～日系社会と付き合う [コッペデひろみ]	16
ブラジルに暮らして A gente dá um jeito!! [上野 晏]	17
ジャーナリストの旅路 分断深まるブラジルで [軽部理人]	17
連載・文化評論 マルチ芸人にしてミステリー作家、ジョー・ソアレス(1938-2022) 死す ジョーの歴史ミステリー作品の魅力再発見 [岸和田仁]	18
最近のブラジル政治経済事情	19
キャンパス・コラム 留学記：カンピーナス市の日伯文化協会 [森部紫央]	19
新刊書紹介	20
連載・ブラジルあれこれ 『O Analista de Bagé』を読んだみた	20
協会からのお知らせ	22



写真＝永武ひかる
「表紙のひとこと」

「リオ・セントロの路地を彩るウォールペイント。軽やかなリズムが聞こえてくるかのよう。描かれているのは、ブラジル音楽史に名を残す、ドリヴァル・カイミ、トム・ジョピン、ノエル・ホーザらの面々。近くにはビシンギニャの像もある」

永武ひかる：ブラジル撮影約 30 年、著作に写真絵本「世界のともだち 3 ブラジル」(偕成社)等。
www.hikarunphoto.com

パラチー Paraty

パラチーは、リオ州南部、州都から国道 101 号線を南西に約 240 キロ、グランド島湾に面した人口約 4 万人の美しい港町。街の歴史的な中心部と周辺の大西洋岸森林地帯の 4 つのエリアが、「パラチーとグランド島」として、2019 年 7 月にユネスコの世界文化・自然複合遺産に登録されている。

パラチーは、トゥピ語でボラ科の魚の川を意味し、最初は砂糖産業の基地としてポルトガル人が入植し、1667 年に独立した行政区として認められる。17 世紀末のミナス州での金鉱発見を契機に、ポルトガル本国への金の独占的な輸出港に指定されたことから、新たな黄金郷として一躍注目され、大規模な集団移動と人口集中が進む。植民地政府は、パラチーに金地金の精錬所を設け、背後に広がるボカイナ海岸山脈を横断する既存の輸送ルートを、ミナス金鉱山への唯一の Caminho do ouro(黄金の道)として整備した。鉱山労働者としてアフリカから大量の黒人奴隷が流入し、郊外には奴隷市場が開設され、鉱山での必要物資の調達・販売等の商業活動も活発化した。18 世紀後半には、金・ダイヤモンドの時代が終わるが、その後もしばらくはコーヒーの積出港として、独立を挟んで 19 世紀後半まで、街は繁栄を享受した。

そんなパラチーには、1722 年完成のリタ教会やロザリオ教会を始めとするバロック様式の教会群、貴族達の邸宅、海賊対策で築かれた砦などなど、ポルトガル植民地と帝政時代の様子を今に伝える多くの歴史的遺構が完全な形で残されている。かつて、この地を訪れた作家ルーベン・ブラーガが、これ程までに海と大地が親密に交わるところを知らないとは表現したように、パラチーの海岸線は、Costa verde(緑の海岸)と呼ばれ、海岸近くに迫る断崖と滝のある山岳風景を背にして、湾内の小島群を含め約 60 ヶ所の美しいビーチが広がる。また、歴史地区市街地は、満潮になると海水が街の石畳を覆い、自然が街路を清掃してくれる独特な構造となっており、自動車規制もあって、観光客たちはゆっくりと歩いて巡ることができる。

私達家族は、リオ在勤の 1988 年 10 月に始めてこの町を訪れた。旧市街のボウザードに泊まり、白を基調とした落ち着いた街並みを散策したこと、ウルブー(黒ハゲタカ)が群れをなしていた活気ある港から地元の観光船に乗り、水辺のリタ教会と旧市街地の落ち着いた風景と背後に広がる山々の緑に感動しつつ、湾内の島々を抜けて辿り着いた静かなビーチで遊んだことを、今でも鮮明に思い出す。機会があれば、次回は、かつての黄金の道を歩いて、先人たちの足跡を辿ってみたいと思う。

沼田行雄(協会理事)





TRADE & DEVELOPMENT BANK

モンゴル貿易開発銀行東京駐在員事務所

“蒼天よりも高く”

突き抜けるような雲ひとつない青い空 — 蒼天(そうてん)

モンゴルは蒼天の国です。そのモンゴルでリーディングバンクとして活躍している

銀行がTDBです。日本とモンゴルの間の貿易・投資に関わる貿易金融や

外国為替を取り扱っています。私たち東京駐在員事務所はモンゴルの蒼天につながる

日本の玄関口です。日本のお客様からのご相談をお待ち申し上げております。

モンゴル貿易開発銀行東京駐在員事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1

丸の内永楽ビル2303

TEL: 03-4588-3945

FAX: 03-4588-3947

<http://tdbm.jp/>

詳しくはコチラ→



◎最寄り駅: 東京メトロ東西線大手町駅B1出口直上



BRASIL NOW

ブラジル・ナウ

10月2日の統一選挙(一次投票)結果から読み取れること

ブラジル統一選挙(大統領、州知事、連邦下院議員全員、上院 27 名、州議会議員)の一次投票が 10 月 2 日(日)に実施(電子投票)され、即日開票された。この結果から読み取れる諸点を列記しておこう。

大統領選挙

まず過去 2 回の大統領選挙結果を復習すると、2014 年の決選投票結果(得票率)は、ルセフ(PT 労働者党)51.64%、ネーヴェス(PSDB 社会民主党)48.36%と、僅差(3%)でルセフが再選された。2018 年の選挙では、一次投票の結果は、①ボルソナロ 46.03% ②アダジ 29.28% ③ゴメス 12.47% ④アルキミン 4.76%となり、二次(決選)投票の結果は、①PSL(社会自由党)のボルソナロ候補: 55.13% ②PT(労働者党)のアダジ候補: 44.87%、とボルソナロの圧勝であった。

今回 2022 年の大統領選挙(一次投票)結果は

- | | |
|---------------------------|--------|
| ①ルーラ元大統領(PT 労働者党) | 48.43% |
| ②ボルソナロ現大統領(PL 自由党) | 43.20% |
| ③シモーネ・デベテ候補(MDB ブラジル民主運動) | 4.16% |
| ④シロ・ゴメス候補(PDT 民主労働党) | 3.04% |

事前の世論調査の数値よりも 5 ポイントくらい高かったボルソナロ候補の“善戦”と報じられたが、前回 2018 年と比較して気付くことは、3 位 4 位の合計が、前回は 17%もあったのに、今回は 7%しかなかったこと、すなわち、第三の候補がほとんど機能せず、ルーラとボルソナロの二極対立構造が明瞭となったことだろう。

いずれの候補も過半数を得られなかったため、上位 2 者のあいだで決選投票が 10 月 30 日に行われる。

この決選投票に関する世論調査については、10 月 5 日発表された IPEC 社調査によればルーラ 55%、ボルソナロ 45%、翌 6 日に公表された PoderData 社の調査ではルーラ 52%、ボルソナロ 48%、8 日に公表された DataFolha の数値はルーラ 53%、ボルソナロ 47%となっている。

在外ブラジル人有権者の投票結果もルーラ優勢(日本は例外)

ブラジル国外に在住するブラジル人有権者の数は、2014 年 35 万、2018 年 50 万であったが、2022 年は 69 万 7 千人と 8 年前に比し、ほぼ倍増しており、小さくもない票田となっている。この在外有権者投票結果は、ルーラ 47.1% ボルソナロ 41.6%であった。これはブラジル本土の選挙結果とほぼ同じだが、日本の場合は異なっていた。在日ブラジル人有権者の結果をみると、名古屋はボルソナロ 79.2% ルーラ 10.7%、東京投票区ではボルソナロ 64% ルーラ 19%といずれもボルソナロの“圧勝”であった。

念のため、前回 2018 年の在外ブラジル人全体の投票行動をチェックしておくと、ボルソナロ 71%、アダジ 29%であったから、在外ブラジル人の 7 割以上がボルソナロに期待したが、今回は、ボルソナロへの期待度は 30%もへこんだのであった。例外的にボ

ルソナロ支持率の高い在日ブラジル人の事例を復習すると、2018 年の地域別のボルソナロ得票率は東京 90.85%、浜松 92.1%、名古屋 91.5%、大泉 91.6%であったから、前回よりは 20%ほどボルソナロ支持率が下がったとはいえ、在日ブラジル人の場合はボルソナロ支持者のほうがルーラ支持者よりも圧倒的に多いということが確認された。

連邦下院議員の政党別獲得議席数(カッコ内は増減数)

主な政党の獲得数は、

- | | |
|------------------------|--------------------------------------|
| ① PL(自由党) 99 (+23) | ② PT(労働者党) 68 (+12) |
| ③ União(連盟党) 59 (+8) | ④ PP(進歩党) 47 (▲11) |
| ⑤ MDB(民主運動) 42 (+5) | ⑥ PSD(社会民主党) 42 (▲4) |
| ⑦ REPUB(共和党) 41 (▲3) | ⑧ PDT(民主労働党) 17 (▲2) |
| ⑨ PSB(社会党) 14 (▲10) | ⑩ PSOL&REDE(社会主義自由党・ネットワーク党) 14 (+4) |
| ⑪ PSDB(社会民主党) 13 (▲16) | |

となっているが、今後の連立与党ないし野党の勢力図を見てみると、ルーラ候補を支持している連立政党(PT/PCdoB/PV/PSB/PSOL/REDE/PROS/PDT など 11 政党)の合計議席は 144 議席だ。

一方、ボルソナロ候補を支持する政党(PL/PP/REPUB/PTB/PSC の 5 政党)の合計は 194 議席であった。

従って、議会運営の視点からみれば、ボルソナロのほうが圧倒的に有利であり、ルーラ政権となった場合、連立与党だけでは法案を通そうにも全く対応できず(513 議席の過半数は 256 議席だ)、中道から保守派政党まで取り込んだ“異種同肩連立政権”でいくしかないだろう。具体的には最低でも PSD、MDB、PSDB の三党を取り込む必要があるはずだ。

女性議員・黒人議員・日系議員の増加

今回の連邦下院議員に当選した女性の数は 91 名で、前回 2018 年の時の 77 名より 14 名増となっている。この数字は過去最高ではあるが、下院議員総数の 17.7%であり、諸外国に比べるとまだまだ少ない。(女性議員 10%の日本の衆議院と比較すれば、多いが。)政党別の女性議員数では、PT18 人、PL17 人。

また、黒人(黒人+褐色)議員の数を見ると、135 名で、政党別では、PL(自由党) 25 人、REPUB(共和党) 20 人となっている。

日系議員は、3 名(サンパウロ選出のカタギリ氏、パラナのニシモリ氏、ミナスのアイハラ氏)と前回の 2 名より 1 名増。

PSDB の凋落

かつて政権与党の時代(1999 年) 99 名の下院議員を擁した PSDB(社会民主党)は、選挙前勢力(29 名)が半減し、当選下院議員は僅か 13 名。1994 年以来州知事を輩出してきた牙城サンパウロでも敗北した。ベテラン議員ジョゼ・セーハ(元州知事・大臣・元大統領候補)の落選が党の凋落を象徴している。

『ブラジル特報』編集部

独立200周年は ブラジル音楽のメモリアル・イヤー

2022 年は 多層的メモリアル・イヤー

ブラジルが独立 200 周年を迎えた 2022 年は、ブラジル音楽にとっても多彩なメモリアル・イヤーだ。

最初にあげたいのが、世界的に知られるボサノヴァの名曲「イパネマの娘 (Garota de Ipanema)」誕生 60 周年。アントニオ・カルロス・ジョビンが作曲、ヴィニシウス・デ・モライスは作詞し、1962 年 8 月から 9 月、リオデジャネイロのクラブ「オー・ボン・グルメ」でロングラン公演となった、ジョビン、ヴィニシウス、ジョアン・ジルベルト、オス・カリオカスが一堂に会したショー、その名も「Um Encontro (出会い)」で初披露された。連日超満員のオーディエンスは、この曲を聴いて熱狂的に反応し、口コミで話題が広がり、この年のうちに歌手のペリー・ヒベイロ、ヴォーカル&インストゥルメンタル・トリオのタンバ・トリオが録音した。

次に、ボサノヴァの海外上陸 60 周年。1962 年 11 月、ニューヨークのカーネギーホールで海外初のボサノヴァ・フェスティバル開催。ジョビン、ジョアン、20 代初のセルジオ・メンデスなどが出演し、彼らの海外でのキャリアの出发点となった。



▲ジルベルト・ジル 家族総出の新作

1942 年生まれの ミュージシャンたち

そしてここからが本題。1942 年、ブラジル音楽の歴史を革新し先導してきた大勢の音楽家が生まれ、今年、80 歳（物故者は生誕 80 年）を迎えた（迎える）。誕生日が早い順に列記しよう。名前に続くカッコ内が誕生日と生まれた州で、幼少時に別の地域に移った人については、→（矢印）の下に転居先を記した。

故ナラ・レオン

（1月19日、エスピリト・サント→リオ）

ジルベルト・ジル

（6月26日、バイーア）

カエターノ・ヴェローゾ

（8月7日、バイーア）

故クララ・ヌネス

（8月12日、ミナス）

故チン・マイア

（9月28日、リオ）

ミルトン・ナシメント

（10月26日、リオ→ミナス）

パウリーニョ・ダ・ヴィオラ

（11月12日、リオ）

まさにオールスターズ！ブラジルで、これほど大勢のビッグネームが誕生した年は、他にないだろう。同じ 1942 年生まれの世界各国の音楽家には、ポール・マッカートニー、ブライアン・ウィルソン、故ルー・リード、故ジミ・ヘンドリックス、故ブライアン・ジョーンズ、ダニエル・バレンボイム、山下洋輔、日野皓正などがいる。なお長年、ジョルジ・ベン（現在名はジョルジ・ベンジョール）も 1942 年生まれと伝えられてきたが、後に本人が 1945 年生まれと宣言。これはおかしい、そんな若いはずないと「サバ読みすぎ疑惑」も広がり結局、



中原 仁
（音楽・放送プロデューサー）

1939 年生まれに落ち着いた。

存命中の、ブラジルの 1942 年組に共通しているのは、今も音楽シーンで活躍を続けていることだ。20 代になって間もなくブラジルが軍事政権に支配されたため、彼らが若くして困難な時代を生き抜く精神力を身につけたことも、息の長さの要因だと思う。

カエターノ・ヴェローゾと ジルベルト・ジル

同郷のジルベルト・ジルとカエターノ・ヴェローゾは大学生時代の 60 年代初めに会い、意気投合。1964 年、他の仲間たちも集めてバイーア州サルヴァドルでコンサートを行なった。

1965 年、サルヴァドルからサンパウロに向かったジルは、ミナスからサンパウロに向かったミルトン・ナシメントと、1966 年に会った。場所は、まだ無名だった 2 人のオリジナル曲をいち早く録音した MPB（ボサノヴァ以降のブラジル・ポピュラー音楽）の先導者、エリス・レジーナの家だった。同じアフリカ系ブラジル人だが音楽家としてのタイプが異なる 2 人は、お互いに強い印象を持ったとコメントしている。

その頃、サルヴァドルからリオに来たカエターノが住んだアパートには、サンバ新世代のシンガー・ソングライターとしてデビューした、パウリーニョ・ダ・ヴィオラがいた。カエターノが、ニューシネマ的な詩作に挑んだ曲を初めて聴いてもらい、感想を求めた相手が、パウリーニョだった。

1968 年、ジルとカエターノは、音楽に文学、映画、演劇、美術などをミックスした新時代のムーヴメント、トロピカリア（トロピカリズム）を展開。若者のカウンター・カルチャーとして世を賑わ

▼カエターノ・ヴェローゾ 新作「メウ・ココ」



せたが、急進的な姿勢を反社会的とみなした軍事政権によって 2 人は逮捕され、1969 年からの約 2 年半、ロンドン亡命を余儀なくされた。

パウリーニョ・ダ・ヴィオラと ミルトン・ナシメント

1969 年、パウリーニョ・ダ・ヴィオラがソング・フェスティバルで発表、優勝した曲「Sinal Fechado (危険信号)」の歌詞には、軍政下で鬱屈した生活を送る若者の心情が投影されている。

1973 年、歌詞の検閲を通じて音楽家の表現の自由を奪う軍事政権への対抗手段として、ミルトン・ナシメントはあえて歌詞を歌わず、スキヤットやヴォーカリーズのような肉声を通じて感情やメッセージを表現したアルバム『Milagre dos Peixes (魚たちの奇跡)』を発表。トレードマークである、マジカルな声の力を確立した。

彼らの若き日を、軍事政権が猛威を奮っていた時代を軸に、駆け足で振り返ってきた。ここからは「今」を紹介しよう。

4 人のカリスマ・ アーティスト：最新動向

最も元気なのが、カエターノ・ヴェローゾだ。2021 年 10 月、自作の新曲を歌うスタジオ録音としては 9 年ぶりとなるニューアルバム『Meu Coco (メウ・ココ)』を発表。新旧の多彩なメンバーと組んだ、優美にして刺激的な作品

で、一言で言えば「声のアルバム」。発声、声の表情と余韻、ポルトガル語の音楽的な響きを生かした詩作も含め、カエターノの肉声のクリエイティビティは年齢を忘れさせる。今年はこのアルバムの発売記念コンサート・ツアーを精力的に行なっている。社会活動への取り組みも衰えない。3 月、ブラジリアの国会議事堂前の広場で、アマゾンの環境破壊に警鐘を鳴らし、政府に環境問題への積極的な取り組みを訴える集会「Ato pela Terra」開催の中心人物として、大勢の音楽家や社会活動家と共に出演し歌った。ちなみにブラジルでは今年、カエターノのインタビューや研究など、5 種類もの書籍が刊行された。

ジルベルト・ジルは一時期、健康を害して入院していたがみごとに復活。2021 年、写真家のセバスチャン・サルガド夫妻が中心となって熱帯雨林の再生を行なう団体「Instituto Terra」の活動を支援する曲「Refloresta (ヘフロレスタ)」を作り、息子や孫たちと録音した。そして今年、娘と息子と孫たち、総勢 20 名以上と共演して歌う映像番組『Em Casa Com os Gil』を発表。同名のアルバムもデジタル・リリースした。コンサート・ツアーも行なっており、公式サイトには 2023 年 4 月までのスケジュールがアップされている。

ミルトン・ナシメントは 90 年代に健康を害して以降、持ち前の声のパワーは失われたが、マイペースで活動し、年下のさまざまな分野の音楽家と共演してきた。80 歳をひと区切りとしてライブ・ステージから引退することを発表。「A Última Sessão da Música (音楽のラスト・セッション)」と題するお別れコンサート・ツアーを、国内外で行なっている。11 月 13 日、ミナスジェライス州ベロ・オリゾンチのサッカースタジアム「ミネイラオン」で行なう最終公演は、全席完売だ。

パウリーニョ・ダ・ヴィオラは、レコーディングからは長年、遠ざかっているが、ライブ活動は続けており、今年には息子や娘と共演するコンサートを行なった。そして 11 月 11 日、リオで 80 歳記念コ



ンサートを行なう。4 人の中で僕が最近、ライブを聴いたのがパウリーニョで、最近と言っても 5 年前だが、彼が自分のバンドを従え、マリーザ・モンチを迎えるという豪華な企画のサンパウロ公演だった。驚き感動したのが、ソフトでまろやかな美声が全く衰えていないこと。僕は昔から彼の滑舌の良さ、中でも語尾が「R」で終わる言葉を、「R」を飲み込むのではなく、例えば悪いが咳払いするように「カッ」と鋭敏に歌い終えるスタイルが大好きだったが、その部分でも変わらぬ良さを保っていた。

誰か一人でも 来日してほしい

カエターノ・ヴェローゾ、ジルベルト・ジル、ミルトン・ナシメント、パウリーニョ・ダ・ヴィオラ。60 年代以降のブラジル音楽をリードしてきたカリスマたちが、今も元気にライブ活動をしていることは、まだまだコロナ禍が消えないブラジルの現状を思うと、とても頼もしい。とは言え、彼らが音楽家としても晩年を迎えていることは事実。いずれは送る日が来てしまうことも覚悟しなければいけないが、その前に、誰か一人でもいいからもう一度、来日してナマの歌声を聴ける日が来ることを願いたい。



▲2017 年の公演鑑賞後、レストランで偶然に会ったパウリーニョ・ダ・ヴィオラ

小野ロザリア館長に訊く 生まれ変わった イピランガ博物館の魅力



仁尾帯刀
(写真家)

▼イピランガ博物館の小野ロザリア館長



イピランガの穏やかな川辺——ブラジルの独立が宣言され、国歌の冒頭でも歌われるサンパウロ市内のその地に立つイピランガ博物館が、大規模改装工事を終えて今年9月7日の独立200周年記念日に合わせて再開された。当面60日間は予約の上、無料で入場できることもあって連日訪問者が詰めかけている。

3年の施工期間中にパンデミックが発生したため作業は中断を余儀なくされたが、独立200周年記念日当日の再開という工期の厳守が求められた。この重圧のもと博物館の管理と運営を託されたのは、サンパウロ大学建築・都市計画学部教授にして、改装を機にイピランガ博物館館長に就任した小野ロザリア氏だった。日本とも縁の深い小野氏に改装工事の経緯と生まれ変わった博物館の魅力を尋ねた。

国家的損失を教訓に

イピランガ博物館の建物は、そもそも独立記念館として建てられたもので、帝政末期の1885年に着工、ブラジルが共和制に移行した翌年の1890年に完成された。19世紀に流行した歴史主義様式による建築は、後に造られた左右対称かつ幾何学的なフランス式庭園を前面に構え、なだらかなイピランガの丘の上でブラジル独立の象徴として威厳を放っている。すでに1895年にはサンパウロで最も古い博物館（州立自然史博物館）として運営され、1963年以降はサンパウロ大学によって管理されている。

築132年を数えるイピランガ博物館の建物にはその都度必要に応じた修繕作

業が行われてきたが、経年劣化により天井板が落下する危険が確認されたため2013年以降閉鎖されていた。

「老朽化の問題に加えて、そもそも博物館として設計されていなかった建物は多数の訪問者を迎え入れる構造でも、近年普及したアクセスフリーな作りでもなかったため、いずれ改装を行う必要がありました。2013年の閉館をきっかけに、独立200周年記念事業として大規模改装を行う構想が生まれたのです」と小野ロザリア館長は語る。

小野氏は、建物の防火対策やアクセシビリティなどが専門で、2019年3月からイピランガ博物館副館長、続く2020年7月から同館館長を大学教授と兼任して現在に至っている。同館館長に建築の専門家が就任するのは歴代2人目だ。

「これまでイピランガ博物館の館長を務めたのは大方、歴史の専門家でした。収蔵品の管理には注意が払われてきましたが、建物の適切な修繕や管理は二の次とされていました。しかし、建物の安全を保たないかぎり、収蔵品を損失しうるのは2018年に起きたリオデジャネイロの国立博物館の火災が示すとおりです」と未だ記憶に新しい国家的損失を例に挙げた。

リオデジャネイロ国立博物館は、帝政

ブラジルでは近年ミュージアムの火災が多発している。2013年のラテンアメリカ記念館（サンパウロ）、2015年のポルトガル語博物館（サンパウロ）、2020年のミナスジェライス連邦大学自然史博物館（ベロオリゾンテ）と2、3年ごとに発生する火災によって、ミュージアム運営のずさんさが指摘されてきた。

これらの火災を踏まえて、イピランガ博物館の改装にあたっては安全を徹底した設計と工事の進捗が求められた。大規模改装工事の間、小野氏が館長に選任されたのは防火対策のエキスパートであることが尊重されたため、小野氏は改装工事の計画にも参加した。

イピランガ博物館は改装を機に、以後45万点を数えるすべての収蔵品を館外で保管することを決め、工事に先駆けて博物館近辺の5箇所の不動産を借りた。2013年の博物館閉鎖から2019年の改装工事着工まで時間を要したのは、不動産探しと収蔵品管理に適した環境整備に時間を費やしたためでもあった。



▲増築されたエントランスホール

日本語が堪能な日系二世の小野氏は専門分野での日本との絆が深い。1997年にサンパウロ大学で博士号を取得する前に、1991年に名古屋大学で工学修士号を取得した他、JICAの研修制度や国際交流基金の奨学制度で日本での研究を重ねてきた。日本との学術交流は、専門分野での国際的なネットワークづくりに益するところが大きく、これまでのキャリアの構築のために重要な履歴と経験であったという。

◀イピランガ博物館外観。かつての基礎部分にエントランスが設けられた



建築的魅力と アクセシビリティへの対応

総額2億3,500万レアルが投じられた改装工事は、拡張とリノベーションを伴う一大プロジェクトだった。総面積は6,400㎡から13,400㎡へと約2倍に、展示スペースも収蔵品を外部で管理することとなったため2倍以上となった。国立歴史美術遺産院（Iphan）によって国の遺産に指定されているイピランガ博物館には、外観を著しく変えるような改



▲展示室には点字や音声案内を備えたデスクが配置された

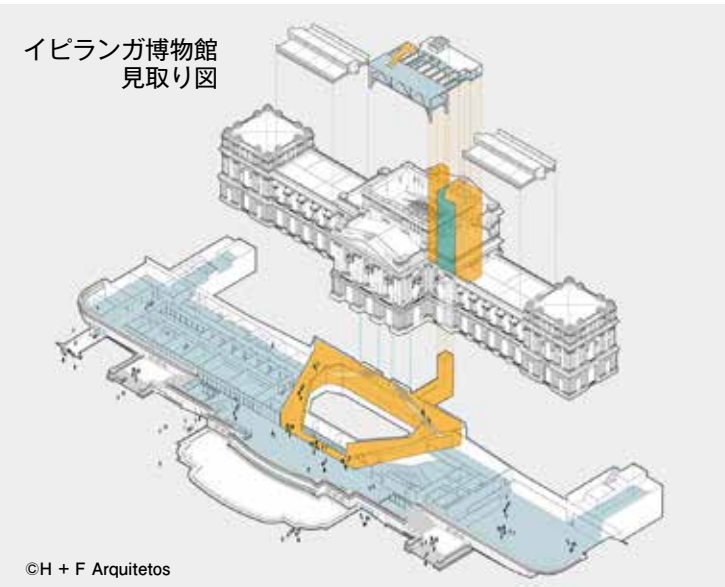
装が認められていない。そのため拡張には、庭園と段差のあるプロムナードの土台の土砂と石材を取り除いて、従来の建物の地下にエントランスを構える1フロアが設けられた。

「改装前の博物館にはエントランスホールがありませんでした。学生などの大人数のグループは、雨天であっても屋外で集合してから入場する必要がありました」と小野氏、建物によくミュージアムにあるべき設備が整った喜びを語った。エントランスホールを含む新設フロアの面積は約7,000㎡。独立記念日の再開時には間に合わなかったが、今後、企画展会場、講堂、教室、アトリエ、カフェなどが順次整備されていく。

博物館の展示場にはかつて地中だった通路から入場するのだが、地中を想起させるよう空間全体が赤茶色のピグメントが混合されたコンクリート壁で囲まれており、モダンな建築技法によるミニマリスティックなつくりとなっている。そこからエスカレーターで上階へとスライドする途中で、側壁上部に顕わになった19世紀の赤煉瓦と石材に見入っていると、突如として華美なネオクラシック様式の内装の只中に突入する。エスカレーター

▼着色された箇所が新たに増設・整備された空間

イピランガ博物館
見取り図



©H + F Arquitetos

でのわずか1フロア分の移動がブラジル共和制初期へのタイムトラベルのように感じられた。

3フロアを占める常設展示会場には10の展示会場が設けられた。多くの展示品に対して、視聴覚障害者向けの点字、手話・字幕入りビデオや、手で触れる

ための作品の模型などが併設されている他、全フロアにバリアフリートイレが設けられ、アクセシビリティへの対応が徹底している印象を受けた。

同じくアクセシビリティへの配慮から、地下に相当するエントランス階から展望台のある4階までを貫くエレベーターが新設された。エレベーターの敷設にあたり取り除かれた床や天井の木材は新設された企画展展示場と講堂の床材に再利用されている。

蘇った大作『独立か死か』

建物の改装と同時に、博物館再開時に展示する収蔵品約3,000点の修繕が行われた。修繕されたのは、絵画、彫刻、写真、布など多様な収蔵品だ。その中でもブラジルの独立宣言のその時を題材に描かれた油絵『独立か死か（Independência ou Morte）』（1888年、ペドロ・アメリコ作）の修繕作業は、TVグローボの人気番組「ファンタスチコ」が特集するなどして広く知られた。

縦415cm×横760cmのスケールの本作は、イピランガ博物館の展示室で額装されたものだった。その大きさゆえに額装されたままでは搬出できないため、予めから展示されていた壁に掲げた状態で修繕作業が行われた。この大作には過去3回修繕作業が施されており、最後に修繕されたのは独立150周年を迎えた1972年だった。時の経過によってまだらに黄ばんだ作品は、X線分析によって制作当時の色調と使用された絵の具が科

学的に調べられ、絵画修繕の専門家によって忠実に上塗りされた。

この『独立か死か』がブラジルの歴史の教科書に掲載されていることは本誌9月号で紹介したとおりで、一般教養として多くのブラジル人に知られた作品だ。サンパウロを訪れる機会がある人には、鮮やかな色彩と躍動感が蘇ったばかりのこの作品を是非鑑賞して欲しい。

そしてアクティブな博物館へ

「今後の活発な運営と継続的なメンテナンスを目的とした財源の確保のために、昨年Fundação de Apoio ao Museu Paulista（パウリスタ博物館支援財団）を設立しました」と小野氏は自らも発起人の一人である新たな財団についても語ってくれた。2024年の任期終了後も財団の経営を通じて博物館を支援していくようだ。

改装前の博物館は、厳かな空間に配置された展示品を鑑賞して歩く展示内容で、「生前に一度行けばいい」と紹介する地元メディアもあった。改装を機にインタラクティブな展示方法が導入され、訪問客は視聴覚で鑑賞するのみならず、タッチパネルやボタンを押すことで展示品の情報が得られる内容となった。また、3～5年間隔で展示品を変更する常設展示に加えて、期間限定的企画展を4ヶ月の周期で展開していく。テクノロジーの導入とアクティブな展示やイベントの開催によって、「市民にイピランガ博物館に足を運ぶ習慣を持ってほしい」と小野館長は期待している。

アマゾナス州発 森の番人とアマゾンの自然が生み出す 「野生のチョコレート」

「やっぱり、私たちのアマゾンは
豊かな場所なんだ！」

日本のカカオ商社が主催するファイン
カカオセミナーにおいて、世界選りすぐ
りの18種類のカカオ豆の中から一番人気
に選ばれたと知り、生産者のルシアおば
さんは誇らしげに顔を綻ばせた。その笑
顔は、チョコレートのパッケージに印刷さ
れ、ブラジル140店舗や日本、アメリカ、
フランスにて販売されている。ブラジルの
カカオ産業と言えば、かつてはパイア州、
今はパラ州がその存在感を増している
が、今回はアマゾナス州奥地から生まれる
チョコレート「NA' KAU」を紹介したい。
ヒベイリーニョ（Ribeirinho）と呼ばれ
るアマゾンの川沿いで伝統的な暮らしを
営む農家達と、何千年も受け継がれる野生
のカカオが醸し出す、アマゾンの恵そのも
ののチョコレートである。

▲自分の顔が印刷されたパッケージに
手に持つルシアおばさん



「NA' KAU」 3つのキーワード

“アマゾン”日本の16倍ものサイズも
あるこの地域を一言で表すのは、実は難
しい。“アマゾンのカカオ農家”と言っ
ても、道路やインターネット等インフラが
整備され、灌漑設備や改良種を駆使し生
産性をあげ、トラックで加工工場に運ぶ
ような農家達もいれば、携帯電話も通じ
ず、道路なんてものは存在せず、時には
口伝でコミュニケーションを取りながら、
船で何十時間もかけてやっと訪問できる
ような農家達もいる。「NA' KAU」のカ
カオを

生産しているのは、後者である。筆者が
代表を務めるNPO法人クルミン・ジャポ
ン/アマモス・アマゾン株式会社と、マ
ナウスを拠点とするNGO Instituto Piagaçu/
Na Floresta Alimentos Amazônicos 株
式会社/の4者は、インフラも資金も、無
い無いつくし環境の中、体当たりで試行錯
誤しながら、アマゾナス州マデ이라川流
域を中心にアグロフォレストリーによる
カカオ栽培・加工指導を行い、マナウスの
工房にて「NA' KAU」を生み出している。
ハンモックを担ぎながら600kmに散らば
る農家宅で寝泊まりしながら指導を行う
工程には、苦労話やエピソードも尽きない
が、今回は「アグロフォレストリー」「バ
ルゼア野生種カカオ」「農家と自然が主役」
という3つの観点から「NA' KAU」を紹介
したい。

危機に晒される、 豊かなマデ이라川

事業地であるマデ이라川は1,000以上
存在するアマゾン支流の中でも最大の水量
を誇る川で、本地域の最も重要な水路の
一つである。ベルーやボリビアのアンデ
ス山脈に水源を持つ川と繋がり、多くの有
機質のおかげでアマゾン地域随一の肥沃
さを誇る。この豊かなマデ이라川は現在、
アマゾン森林破壊の新たなホットスポット
となっている。国内一の森林面積を誇るア
マゾナス州は、近年幹線道路の整備に伴い
州南部での森林減少リスクが高まっており、
2020～21年においては他州と比べて最
も高い減少率を記録した。政府が森林破
壊高リスク地を列挙する“ブラックリス
ト”に名を連ねるアマゾナス州の6行政区
のうち、3行政区（マニコレ、ノボア
リブアナン、ウマイタ）が集中するのがマ
デ이라川流域である。そして、当該地域
において森林破壊を悪化させているが、“
森の番人”である農民の人口流出である。
というも、この曠然たる大きさの前に法
による伐採規制の実効性は必ずしも期待
できず、従来“森の番人”の機能を果た
してきたのが、持続的な形で自然資源を
利用してきた農民達だからである。“森の
番人”

が不在となった土地は、木材伐採業者や
牧場開発者に転売されるなど、森林破壊
への脆弱性が高くなる。

1. 「アグロフォレストリー： 日系人からヒベイリーニョへ」

近年、マデ이라川流域のヒベイリーニョ
達の現金収入を求めた都市への人口流出
が絶えない。さらに、農業への先行き不安
から違法金採掘に従事するものが急増し
ており水銀汚染の懸念も高まっている。農
民達の大半は、暮らし慣れた森を離れて街
に移住することも、生活の基盤である川を
汚すことも望んでおらず、経済的困窮ゆ
えに選ばざるを得ない状況にある。そこ
で、環境保全型農業による農民の収入向上
が、森や川の保全を担保するとし、2008
年より日本のNGO（2008-2015はHANDS、
2016年以降は筆者が所属するクルミン・
ジャボン）と現地NGOによるアグロフォ
レストリープロジェクトが進められている。
その導入においては、CAMTA（トメ
アス総合農業協同組合）に協力を頂き、
ヒベイリーニョ達がトメアスにて研修を受
けたり、元理事長である小長野氏に幾度も
足を運んで頂いて実地研修を行ったりし
てきた。“計画的に、農業で生計を立てる”
という概念がなかった彼らにとって、ト
メアスでの経験は農業の概念を大きく変
えるものであったと言う。こうした長年
の取り組みにより、元々「苗を植え、植
える」という習慣すらなかった地域に、少
しずつアグロフォレストリー農場が増えて
きた。

2. 「バルゼア野生種カカオ」

事業地の
ように極端
に市場アク
セスが悪い
地域におい
てアグロフォ
レストリーが
定着するに
は、高付加
価値換金作
物と適切な



▲改良種カカオと野生種カカオでは、カ
カオポッド（実）も豆もサイズが異なる

野生種カカオの木。冠水時には
マデ이라川が天然の肥料となる▼



流通が欠かせない。そこで目をつけたの
がカカオである。カカオは、その性質上
アグロフォレストリー方式と相性が良い。
その上、世界的に需要が伸びており、また、
適切に乾燥させれば1～2年は保存でき
ることからも、非常に広範な範囲に散在
する農家でも販売することができる。さ
らに筆者が惹きつけられたのは、原産地
に近いこの地域には世界的にも貴重な「
野生種カカオ」が存在することである。

本地域には、CEPLAC（農業省傘下の
カカオ栽培研究機関）が普及する品種改
良種も存在するが、この2つには様々な
違いが見られる。野生種カカオがバルゼ
ア（氾濫原）という定期的な冠水により
肥沃化した土地にのみ育つ一方、品種改
良種はアマゾンの大半を占めるテハ・フ
ィルミという乏栄養土で栽培される（バ
ルゼアは、アマゾンの5-6%しか存在し
ない）。品種改良種が生産性を保つには灌
漑や肥料等、多くの投入が必要であるが、
野生種カカオはアマゾン随一の肥沃さを
誇るマデ이라川から運ばれてくる栄養分
のため、肥料を使用しなくとも十分に育
つ。実や豆のサイズも大きく異なり、品
種改良種に比べ豆のサイズが非常に小
さい野生種は、経済効率が劣るとして、
長年見放されてきた。そのため、チョコ
レートにするためには必須である発酵加
工が普及しておらず、貴重なカカオであ
るにも関わらず、カカオバター抽出用に
非常に安価で取引されるのみであった。
本事業により初めて発酵がなされ、ア
マゾナス州初にして唯一のチョコレート
工房Na Floresta Alimentos Amazônicos
株式会社とのパートナーシップにより、
初めてアマゾンの地でチョコレートとし
て生まれ変わることが出来たのである。

現在、カカオ・イノベーションセン
ター（パイア州）の品質研究責任者Adriana
Reis博士にアドバイザーとして関わっ
てもらっているが、ブラジル中のカカオ
を見てきた彼女が初めてこの野生種カカ
オを見た時、衝撃を受けたと言う。「世
界中のカカオの原点であるアマゾンの
森。その“番人”であるヒベイリーニョ
達が先祖

代々引き継がれる知識で育んできたカ
カオは、とてもユニークで特別です。酸
味と苦味のバランスがよく、カカオの
風味とピロードのような渋み、柑橘系
の香りとフルーティーな風味、ハーブ、
ウッディ、アーモンド、マイルドなス
パイスのようなノートも感じられます。
このカカオは可能性に溢れています。」
と評価している。

3. 「農家と自然が主役」

カカオの質を左右するのは「カカオ
の遺伝子」「テロワール」そして「発
酵」と言われるが、微生物の宝庫であ
る熱帯雨林において発酵をコントロール
するのは容易ではない。カカオ産地では
農家から発酵前の果肉付カカオを原料
として買取り、インフラの整った集中
発酵センターで加工を行うことが一般
的である。地域によっては、スタータ
ー菌やテクノロジーを駆使して安定品
質を生み出す試みもあるが、本事業で
は外から菌を持ち込まず、農家自身に
彼らの土地で発酵を行ってもらってい
る。世界一豊かな生態系が醸し出す発
酵にも価値があり、生産者達を単なる
原料供給者で終わらせたくないという
思いがあるからだ。

従来、味のブレは市場において不利
なものとされてきた。しかし、見方を
変えてみれば、カカオは農作物であり、
農作物は気候や自然環境に大きくされ
るものである。農作物を工業製品よう
に、効率よく、画一規格で揃えようと
、種をコントロールし、肥料・農薬を
大量投入する大規模工業型農業が、ア
マゾン地域における大豆畑のように熱
帯雨林破壊を生み出したことを考えると
、「農作物」について一考を投じる価値
があるのではない。森林生態系と共存
し、アンデス山脈と川の栄養によって
育まれ、そこに暮らす微生物達が旨味
を醸し出す。まさに自然そのもののカ
カオである。画一的なテイストでなく
とも、それが自然が生み出す風味であ
ると言えないだろうか。

冒頭に述べた通り、「Na' kau」のパ
ッケージには、カカオ農家の顔が印刷
され、HPにはアマゾンの豊かさや各
農家の人生等が説明されている。初め
て自分の顔が印刷されたチョコレートを
見た農家の一人は、「今までの努力

が報われた」と涙を浮かべた。アマ
ゾンが原産のカカオがヨーロッパに渡
って以来、スターシヨコラティエや大
企業のものであったチョコレート。本
来は、豊かな熱帯雨林と農家の丁寧な
仕事なしでは存在できないものである。
また、小規模生産者が主体となる新
たな認証制度「参加型有機認証」を取
得し、ブラジル北部初の認証付チョコ
レートともなった。

アマゾンに惚れ、 その可能性を信じる

2022年9月現在、農家への発酵カ
カオ1kgに対する支払い額は約18レ
アルであり、現地で取引される未発酵
カカオ豆の約2-3倍の価格である。農
民たちが町で仕事を見つける際、多
くの場合法定最低賃金しか稼げない
が、事業に参加する農家のカカオお
よびその他アグロフォレストリー作
物からの収入は軽くその2倍以上に達
している。期待も市場ニーズも徐々
に高まってきており、2016年に1行
政区から始まった取り組みが今では
7行政府まで広がり、参加農家や買
取量も10倍以上に拡大している。20
18年にはアマゾナス州初となる日本
へのカカオ豆の輸出も行われ2022
年には初年の4倍を輸出し、世界の
どの産地のカカオより高い価格を付
けてもらっている。

最後にNa Floresta Alimentos Ama
zônicos 株式会社代表Artur Coimbra
氏の言葉を紹介する。

「僕たちは、サンパウロのチョコレ
ート会社よりも大きな困難を抱えざる
を得ません。アマゾナス州では、ロジ
スティックコストが25%以上高い。
その中で利益を生み出し、価格競争
にも勝たないといけない。アクセス
のいい農家からカカオを買って、熟
練労働者を雇用したらビジネスはも
っと易しいかも知れない。でも、僕
はアマゾンに惚れ込んでいるのです。
アマゾンの可能性を信じています。」
“Amamos Amazon (We love Amazon)”
という会社名をつけた筆者も全く同
じ思いである。



事業地には先住民居住区も含まれる▶
Jauari 先住民居住区の農家ビンドゥーカさん

Make Your Life GOSTOSO ④



REI CAPOEIRAP
(音楽プロデューサー)

BRAZILIAN DAY HAMAMATSU ブラジリアンデー浜松の感動

去る9月3日、4日にブラジリアンデー浜松が盛大に行われた。2日間で2.5万人を動員、静岡県中のブラジル人、愛知や岐阜、東海地方からも沢山訪れていた。ほぼブラジルの、ブラジル指数高めの濃いイベントだった。小生も初日のステージで歌わせていただいた。たくさん声をかけてもらったり、声をかけたり、とても楽しい幸せな時間だった。コロナ禍で誰かが実行できなかったイベントを企画してくれた Promotion Brasil の幕田マリオさん、在浜松ブラジル領事館のアウデモ総領事に大きな拍手を送りたい。

日本で二番目に多くのブラジル人が住む静岡県。ブラジル人たちはとても優しく、浜松市を始めとする行政の日々の取り組みもあって日本人ともうまく共生ができていのだらう、と勝手にイメージをしていた。勿論、日本語に苦労しているブラジル人にも会ったけれど、どこか余裕があるのは海もあるお茶もある静岡県の風土が助けているのでは、とさらに勝手にイメージしてみた。

なにはともあれ、百聞は一見にしかず。その盛り上がりっぷりを"俺のブラジリアン"YouTubeチャンネルでご覧いただければ幸いです。

Wapoeira - 和ポエイラ -

コロナ禍で東京都のアート企画で生まれた Virtual Bon Dance の為に制作した Tankobushi Funk 炭坑節ファンキ。言わずもがな盆踊りで有名な逸曲、福岡民謡の炭坑節をブラジルのバイレファンキのスタイルの一つであるプレーガファンキにアレンジしたもので、ミュージックビデオは浅草と今はなき原宿の Kawaii Monster Cafe で撮影している。振り付けをしてくれた創作舞踊家の孝藤右近さんの誘いで浅草にできた新スポット"浅草横町"で毎週、花魁道中ショーを開催している。自分にとっては全く新しいジャンルへの挑戦であるが、ありがたいことにショーの合間にカポエイラをやらせていただいている。"和ポエイラ"と名付けた。新たに自分のジャンルができた気がした。花魁とカポエイラ？まったく理解し難いところだが、平日の夜にぶらっと温故知新な新しい日本を浅草で感じていただければ幸いです。10月12日、長い鎖国からようやく開国した日本、インバウンドが復活しても以前のようには戻れないという声も多いが、東京の玄関"浅草"で俺は今後も日本ブラジルフュージョンでおもてなししたい。



Novinha Safadinha

Cantagalo P.P.G の MC と DJ と撮影したミュージックビデオが

完成した。小生は"東京からブラジルに来たラッパー"という体で客演。トラックは DJ Darth がサンプルから制作して MC Karilton がメロディと歌詞をつけた。俺も自分のパートは日本語で作詞し即興で歌を作った。そんな一発録りのスタイルでできた楽曲だがポルトガル語の"Novinha Safadinha"を一体どう日本語に訳したか、是非ご覧いただけたらと。Moto Taxi で登っていくファヴェーラの丘。屋上からでしか見れない絶景のリオデジャネイロの Pôr do Sol、現役で活躍するパシスタのサンバとファンキを混ぜたダンス、汗臭さ漂う場末感たっぷりの Barzinho。そこでカピリーニャを飲んで歌うのが筆者です。

Amor e Amizade

ブラジリアンデー浜松で出会ったイベント会社のプロデューサーに声をかけていただき1週間後に再度、静岡へ。YouTuber、コメディアン、アーティストでもある Whindersson Nunes のショーに。在日ブラジル人のインフルエンサーや YouTuber ともたくさん出会い、輪が広がった。日本の23倍の国土を持つブラジルと比べたら日本国内の移動なんて容易いもの。ショーの後に飲みに行ったが気付いたら群馬県大泉町のブラジル人、沖縄のブラジル人、福井のブラジル人、愛知県豊田のブラジル人、福岡のブラジル人、ブラジルのブラジル人、そして自分というメンバーで居酒屋に。どこまでもフツフツ軽なブラジル人たち。そして会ったらすぐ Amigo なノリは日本でもブラジルでも根底は変わらない。友情はどこまでも。ブラジルのブラジル人たち、日本のブラジル人たち、このコロナ禍を経て世界が繋がっていることも再認識できた。

Make Your Life GOSTOSO

"人生を美味しく"をテーマに2018年に制作したデモがようやく形になろうとしている。美味しいブラジルご飯やシュラスコ、カピリーニャはもちろん、ユニークで愉快なアミーゴたち、多様性のある美しい世界、美しいブラジルをゴリ押しする訳ではないけれど、ブラジルを通して幸せで心豊かになった自分が実験台となって、これからも歌っていききたい、創っていききたい音楽をまた一つ産み出すことができた。ミュージックビデオは今まさに南米を縦断している友人夫婦のモトホームを囲んでサンパウロのカプリウーバのコンドミニアムで撮影した。年末か新年に KondZilla チャンネルで公開予定だ。4回に渡りお届けしてきた Make Your Life GOSTOSO、小生の稚拙且つ支離滅裂な文章にお付き合いいただき誠にありがとうございます。兎にも角にも"ブラジル愛"が共通項ということでご容赦ください。少し早いですが2023年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

来たる11月19日、20日は東京・代々木公園のブラジルフェスティバル。2022年最後のビッグイベント。皆さん、"東京のブラジル"で会いましょう！



双日のブラジル事業



志田 亨
(双日ブラジル会社社長 兼リオデジャネイロ支店長)

2030年に目指す姿として「事業や人材を創造し続ける総合会社」を掲げている双日は旧日商岩井及び旧ニチメンの流れを汲んでおり、旧ニチメンが1955年にサンパウロ、旧日商岩井が1957～1958年（当時、日商）にかけてサンパウロ及びリオ夫々に事務所を開設以来、この地で60年以上の歴史を刻んできた。

日本製鉄各社への リオドセ社鉄鉱石の紹介、輸入代行

当社のブラジルビジネス展開の礎となったのは、1950年代に旧日商岩井（当時、岩井産業）が日本の製鉄各社へ当時国営のリオドセ社（現 Vale〈ヴァーレ〉）を最初に紹介したことから、日本製鉄各社のリオドセ鉄鉱石輸入代行幹事商社となった鉄鉱石輸入ビジネスである。当時、日本の粗鋼生産は右肩上がりとなっており、ブラジルからの鉄鉱石の輸入は年々急増。そうした中、鉄鉱石需要の急増を受け、従来原料としては不適とされていた微粉鉄鉱石の活用が考えられるようになり、微粉鉱をパチンコ玉程度の大きさに焼き固める「ペレット」を事業化する事が検討された。

日本の製鉄各社も良質の鉄鉱石を産出するブラジルに於いてペレットのプラントを持つ事は原料の確保、供給地分散の両面から必要と考え、1974年にはリオドセ社51%、日本側49%（高炉メーカー6社と日商岩井）の出資比率にて合併会社 NIBRASCO 社を設立する事で合意。同社は1978年より生産を開始しており、今も生産を継続している。

ペトロbrasへのファイナンス

1980年代末、ブラジルの原油生産量は日量60万バレル。一方、消費量は110万バレルと巨額の原油輸入に頼らざるをえず、工業立国化を目指すブラジルにとって石油確保は最重要課題だった。一方でブラジルはモラトリアム宣言下でハイパーインフレーションに悩まされつづけ、対外送金など厳しく規制された時期でもあり、世界の公的私的金融機関はブラジルに対して完全にドアを閉ざし、新たなプロジェクトの立ち上げは極めて困難な状況にあった。そうした最中の1991年、当社はそれまでペトロbras

（ブラジル国営石油会社）へはリグ2隻の輸出実績があり化学品合併会社も設立し信頼関係を構築していたことから、同社のパフォーマンスを信用出来るとして同社向けに浮体式洋上石油生産設備の裸備船契約（船舶の賃貸借契約）を手掛け、その後も合計10億ドル以上にも及ぶファインンススキームを提供。当時はペトロbrasの原油生産量の半分を賄う規模の設備としてブラジルの原油生産に貢献できたと考えている。このペトロbrasとの関係が、その後のフラージ油田への参画につながり、これが本邦企業初のブラジルにおける上流権益取得となった。

新たなチャレンジ

当社は製鉄原料ビジネスに於いては鉄鉱石のみならず合金鉄分野でもブラジルで幅広く活動していた事もあり、1960年代より現在に至るまで世界最大のニオブ生産者であるコンパニア・ブラジレイラ・メタルギア・イ・ミネラソン社（Companhia Brasileira de Metalurgia e Mineracao：CBMM）の対日 Exclusive Agent として取引を継続している。ニオブは金属自体の発見が非常に新しい希少金属であるが故に当初は限定的な用途しかなかったが、CBMMと当社は共同で日本の製鉄各社へ地道に働きかけ、用途開発を依頼。現在では高級鋼への添加原料として不可欠なものになるなど、化学用途を含め用途・需要を拡大してきた。そうした流れもあり、2011年に、当社は希少金属資源確保を念頭に日本製鉄、JFEスチール、JOGMECを含め各社等分でコンソーシアムを形成しCBMM株式の10%を買収した。

昨今EV時代が到来しつつある中、現在は東芝/CBMM/双日の3社にてニオブチタン系酸化物(Niobium Titanium Oxide)を用いた次世代リチウムイオン電池の共同開発契約を締結し、商業化を目指している。

以上が当社の過去からのブラジルビジネスの代表例であるが、今回改めて過去を振り返るとブラジルと日本の架け橋として活躍されてきた諸先輩の姿が目に浮かび身の引き締まる思いである。こうした歴史を踏まえ、当社は脱炭素社会の到来を踏まえた取り組み中の各種案件推進により、事業や人材を創造し続けながらブラジルの発展に寄与していくべく全力を尽くしていく所存である。

事業環境の改善を図る 最近の法改正



柏 健吾
(TMI 総合法律事務所
日本法弁護士
現在ブラジルで勤務)

1. 事業環境の改善の流れ

各国でのビジネスのしやすさをランキングした世界銀行作成の「Doing Business」というレポートの2020年版（2021年に同レポートは廃止された）において、ブラジルは190か国中124位とビジネスがしづらい国の1つと認定されている。ブラジルでのビジネス上の障壁は「ブラジルコスト」と呼ばれるが、同レポートにおいてブラジルの評価を下げている要因の1つが「事業開始（Starting a Business）」である。

もっとも、ブラジル政府もこのような状況を放置しているわけではなく、近年、事業環境を改善するための法改正を次々に行っている。2017年には労働法が大幅に改正されたが、これも、ブラジルコストの1つであった労働問題を改善することを目的としたものであった。本稿では、事業環境の改善のために行われた近年の法改正や創設された新制度を紹介する。

2. 会社の設立

会社設立を容易にするため、2021年に、会社設立に伴う各公的機関への届出や登録を簡易化する「Balcão Único」というオンラインシステムを開始した。同システムが提供する定款のひな形を利用することが条件ではあるが、同システムを利用することにより会社の設立を数時間で行うことができるようになった。また、事業環境近代化法（Lei de Modernização do Ambiente de Negócios）と呼ばれる2021年14195号は、中リスク事業の場合の営業許可（Alvará de Funcionamento）の自動発行を認めるなど、会社設立手続を簡易化した。

3. 1人株主の会社

ブラジルで最も利用されている法人形態であるSociedade Limitada（以下「Limitada」という）は、従来は最低2人の株主が必要であったが、2019年の法改正により1人株主も可能になった。これにより、よりスピーディかつ簡易に会社を設立することができるようになった。

4. 業務執行者

株式会社であるSociedade Anônima（以下「S.A.」という）に必要な業務執行者（取締役）が2021年の法改正により1人でもよくなった（従来は最低2人）。

また、2021年の法改正により、LimitadaにおいてもS.A.においても、業務執行者がブラジル国外居住の者でも就任することができるようになった（厳密に言えばLimitadaに関しては法律上は明確ではないが、登記実務を管轄している政府機関（DREI）がLimitadaの業務執行者に関してもブラジル国外居住を認めた）。

さらに、Limitadaにおいて、株主以外の者から業務執行者を選任する場合に必要な議決権数が、2022年の法改正により、引受株式が全額払い込まれていない場合は議決権の3分の2以上（従来は全株主の承認）、引受株式が全額払い込まれている場合は議決権の過半数（従来は3分の2以上）に変更された。

5. 株主総会決議

Limitadaの株主総会決議に関して、従来議決権の4分の3以上の賛成が必要であった事項（定款変更、合併、清算など）が、2022年の法改正により議決権の過半数で足りることになった。

6. 公告の簡易化

会社法で要求される公告方法は、2019年の法改正により簡易化され、官報での公告が不要になり、会社の本店所在地で発行される広く流通している新聞での要旨の公告及び同一の新聞のインターネットページでの全文の公告により行うことが可能になった。また、2021年の法改正により、売上高が7,800万リアル以下の非公開S.A.（非上場会社）の場合は電子公告のみでの公告が可能となった。なお、Limitadaに適用される民法においては公告に関する改正は行われていないため、Limitadaに関しては簡易な公告は認められていない。

7. 複数議決権

2021年の法改正により、S.A.において、1株式あたり複数（10票まで）の議決権を有する種類株式を発行することができるようになった。これにより、創業者が会社の経営権を維持しながら投資を受けることが可能になった。なお、Limitadaにおいて複数議決権の株式を発行できるかは議論がある。

8. スタートアップ法

本誌2022年5月号で紹介したとおり、スタートアップの事業環境やスタートアップへの投資を改善・促進することを目的にスタートアップ法が制定された。詳細は同号をご覧ください。スタートアップに投資した投資家の責任の範囲が明確化されたことでスタートアップへの投資が促進されることが期待される。

9. 倒産法の改正

倒産法（2005年法律11101号）が2020年に改正され、裁判上の再生手続中の会社から資産や事業を購入する際に、買主が労働債務などの簿外債務を承継しないことが規定された。また、再生方法として、債務の株式化（Debt Equity Swap）及び債務者全部の売却が規定され、また、DIPファイナンスについてのルールも規定された。これらにより、再生手続がしやすくなったとともに、再生手続中の会社に対する融資や再生手続中の会社からの資産や事業の購入がしやすくなった。

10. 外資規制の緩和

特定の産業については、外国企業による参入に制限（いわゆる外資規制）が課せられているが、外資規制も近年緩和の方向にある。たとえば医療機関への外資企業の参入が2015年から可能となり、また、国内運航の航空会社への外国企業による出資規制が2019年に撤廃された。また、現在、農村不動産（Imóvel Rural）の取得に関する外資規制を緩和する法案が国会で議論されている。

日本への国際送金に係る 税制度についての新たな通達



ジュリオ・アシス
(KPMG ブラジル
税務及び
法律パートナー)



三上智大
(KPMG ブラジル
ジャパニデスク
マネージャー)



天野義仁
(KPMG ブラジル
ジャパニデスク
責任者)

世界的にみて一企業が税務コンプライアンスに要する時間が多いブラジルにおいて、各企業で悩まれている税務論点の一つに、日本の親会社とブラジルの子会社との間の契約に係るブラジル子会社から日本の親会社への国際送金が挙げられる。

SC/COSIT 20/22 は、日本の親会社とブラジルの子会社との間の一連の契約に関連した対価をブラジルから日本へ送金する際に係る、納税者が支払うべき源泉所得税（IRRF）の課税対象及び適用税率に関する事項について触れている。今回は、SC/COSIT 20/22 で記載された主要な議論内容についてご紹介したい。

SC/COSIT 20/22

SC/COSIT 20/22 で分析されている活動として、民事賠償責任に対する保険の払い戻し、テクニカルサポートサービス、斡旋販売、試験サービス、などが挙げられる。なお、納税者が提起した一部のケースは、税務上の観点から完全な分析を行うには必要な情報が不足していると判断され、一例としてIT関連サービスや支出の還付に関連したケースはCOSIT から回答が見送られている。

◆民事賠償責任に対する保険の払い戻し

民事賠償責任に対する保険の払い戻しについて、COSIT は保険会社が日本に所在しブラジルに恒久的施設を持たないという仮定を立てたうえで、当該行為は日伯租税条約第5条に照らし合わせて「日本の親会社に帰属する利得」として認識され、従ってIRRFの課税対象とならないとの見解を示している。

◆テクニカルサポートサービス

テクニカルサポートサービスについて、関連技術又は間接技術を含めたノウハウがサービスを通じて移転されているかどうかは税務上の取り扱いでの重要な基準となっている。つまり、テクニカルサポートサービスが、間接的にせよ、技術移転を伴う場合には、当該活動に対する対価としての送金は日伯租税条約に従い12.5%のIRRFの課税対象となるとの見解をCOSIT は示している。一方、「純粋な」テクニカルサポートサービスは、技術移転との関連性又は間接性は認められず、従ってIRRFの課税対象とならないとの見解を示している。

当該分析にあたってCOSIT は、日伯租税条約第11条によるノウハウの定義を採用しており、文中の「産業上、商業上若しくは学術上の経験に関する情報」を引用している。

なお、日伯租税条約においては同等性の規定が存在しないことから、先述の通り、直接的又は間接的にノウハウ移転を伴わないテクニカルサービスは日伯租税条約第5条の規定に照らして日本の親会社に帰属する利得として分類され、IRRFの課税対象とならない。一方、他国の租税条約においては、同等性が規定されていることにより課税対象が変更又は拡大されている場合があることから、異なる判断がCOSIT により下される可能性があることが強調されている。

◆斡旋販売

親会社による斡旋販売について、COSIT ではブローカー又は仲介サービスと同等するものとの理解を示している。こうしたサービスは租税条約の適用を受けないケースにおいては原則的にIRRFの25%の税率が課税されるものの、上述のテクニカルサポートサービスのケースと同様に、日伯租税条約第5条の規定に照らして「日本の親会社に帰属する利得」として認識されることから、IRRFの課税対象とならないとの見解を示している。

◆試験サービス

試験サービスについて、COSIT は提出された情報及び資料に基づき、試験サービスが専門技術の移転と伴わないとの見解を示し、当該ケースにおける試験サービスはIRRFの課税対象とならないとの見解を示している。

本記事で取り扱ったSC/COSIT 20/22 は、一納税者から提示された状況に基づいて税務当局が行った分析をまとめたものである。各企業の関連当事者間の取引において今回のSC/COSIT 20/22 の見解が必ずしも適用できるものではないことに留意されたい。

総括として、SC/COSIT 20/22 の見解は、企業が締結する様々な契約において日本への国際送金に係る税負担を見直す機会を提供している。検討に当たっては活動の性質、内部統制、裏付け資料、日本に所在する関連当事者との契約上の文言を慎重に評価する必要があり、一筋縄ではいえないと言える。しかしながら、当該通達の詳細な分析により、将来的な税負担の軽減及び過年度に支払われた過払い税金の還付の可能性が生じたことは間違いのないであろう。

ブラジルに暮らして10年 日系社会と付き合う



コッペデひろみ
(音楽家・イベントコーディネーター
/ 和伯美苑 / 在伯青森県人会副会長)

10月でブラジルに来てから丸10年が経った。私は日系ブラジル人と共にイベントを開催したり、お手伝いをしたりとブラジルの日系社会に深く関わっているが、実は渡伯してから暫くは日系社会の存在を知らずに生活していた。

私の夫は日系企業で働いていた為、日系人と関わりはあったが、私が聞かなかったから、興味が無いものだったと思う。住んでいる地区にも日系人はいたが、彼らは日系社会と関わることなく暮らしていた為、情報が全く入ってこなかった。

情報といえば、先日、私の家の近所でお店を営んでいるブラジル人女性と話す機会があった。彼女は日本(父)とブラジル(母)のMestiça(混血)だという。彼女曰く、父と離れ母親と暮らしていたから日系社会の事を全く知らずに育ったが、父方の祖先の生まれた県を知っていた。そこで私はブラジル都道府県人会の話したら、県人会の存在を知らなかったと言われ、彼女の恋人も日本とブラジルのMistiçoだが、話を聞くと同様だった。そう、枠が少しでもずれると情報が全く入ってこないのだ。

しかし、彼女は自身の半分のルーツが日本だということもあり、一度は日本で生活したい、と1年間だけ日本に働きに行った事があった。同じ状況の人は他にもいるのかな? とアンテナを張ると引き寄せられるのか、日本に数ヶ月間~数年間、働きに行った事があるという人達と出会うようになる。

彼らはブラジルに戻ってきたけれど、日系社会と関わることなくブラジルで暮らしている。日本語は全く話せないけれど、揃って言うことは「日本にまた行きたい」だ。行きたい理由は「食べ物」と「治安の良さ」が多かった。中でも、ソフトクリームについて熱く語る女性がいて、なかなか興味深かった。パンデミックも落ち着き、日本入国制限も緩和されてきたから、またいつか行けたら良いねと話している。

さて、ブラジルに来た当初、日系社会を知らずに生活していた私が、何故今のように関わるようになったかという、偶然知り合った日本人駐在妻の方が所属している女声コーラスを紹介してもらった事がきっかけだった。グループは日系ブラジル人、私のように結婚を機にブラジルに移住した日本人、日本人駐在妻で結成されていて、所属後、はじめての発表会はブラジル日本文化福祉協会、通称「文協」の203席ある小講堂だった。

今でこそ通うようになったが、発表会当日まで文協の場所と存在を私は知らなかったのだ。興味が無いと、意識はそこにはいかないのだから、知らなくて当然な事だと思う。

このエッセイを執筆するにあたり、日系社会についてインスピレーションを得るために、文協の中嶋エドアルド剛 事務局長と対談をしたところ、「日本ブラジル中央協会は文協の「一親」、大事な役割を果たした団体です」と教え

てくださった。

中央協会と深く関わりがある文協で発表会をしたあとに、日系社会に興味を持ったかといわれたら、そうでもなく、コーラスを習いながら日系社会と浅い付き合いのまま生活を送っていたが、ある日突然転機が訪れた。

それは、2015年2月にサンパウロ市で開催されたカーニバルで、サンパウロのサンバチーム「アギア・チ・オウロ」から故郷青森県の五所川原立佐武多の山車が出場した事だ。日本の青森県から遙々海を渡りサンパウロにくるのだから、興味が出ないわけがない。しかも、世界的デザイナーであるコシノジュンコさんが衣装デザインをするというのだから尚更だ。

コーラス仲間たちが皆で参加をするというので便乗させてもらい、夜遅くまで行われる練習にも参加し、本番を明け方に迎え、その後、寝不足のまま、在サンパウロ総領事公邸で催された慰労会に出席。そこで、当時の在伯青森県人会の会長、玉城道子さんを紹介された。

青森県人会がブラジルに存在した事を、私はこの時知ったのだ。日本で、青森県で「ブラジルに青森県人会があるの?」と聞かれるたびに、「私もそう思っていた、存在をもっと知ってもらえれば」と今では思う。

さて、玉城元会長とお話をしてみると、お互いの実家が近い事がわかり、親近感が一気に湧き、その場で青森県人会に入会する約束をしたのだが、当時は入会した県人会で特に何かをするわけでもなく、月日が流れた。

しかし、2019年に実施された創立65周年記念式典で演奏をした事を皮切りに、どんどん関わるようになり、今年2022年、副会長に就任した。

在伯青森県人会は今年の10月23日で創立68年を迎える。そろそろ70周年の準備をしなくてはと話しているところだ。県人会では先日、2年ぶりに敬老会を実施し、三村申吾青森県知事から県人会会員に向けたビデオメッセージを、そして青森県庁から記念品が贈られ、盛会のうちに終了した。

これらは、私が今年8月に三村青森県知事を表敬訪問した際にお願した事なのだが、ブラジルは未だ国際郵便サービスが落ち着いていない中、敬老会に間に合うように県の担当の方が懸命に考えて、記念品を配送してくれたのだ。

三村知事からのビデオメッセージも、こちらでポルトガル語字幕を付けるために、程よい尺で撮影してくれた。

副会長になって初めて、県庁の助けがあって、県人会の活動はできているんだと内情を知ることができた。故郷青森県と在伯青森県人会の先輩方に感謝と敬意を表すために、日本とブラジルの橋渡しをこれからも変わらずしていきたいと切に思う。

VIVENDO

ブラジルに暮らして

A gente dá um jeito!!

ブラジルでインターンを始めて半年が経った。日本人とブラジル人の働き方は大きく異なっていると感じる。ブラジル人の適当で、楽観的でどこか自信がある所は私が好きな所ではある。しかし、何か起きた時の為にしっかり準備をしておかなければならない、とこれまで日本で言われてきた私にとって、それは戸惑いを憶えることがある。

こんなに準備しなくて大丈夫なのだろうか? 明日やるんじゃないかと今から始めた方がいいんじゃないのか? このままでは大失敗に終わるのではないかな…!

何かイベントがある時だけではなく、日々の仕事の中でも、私だけ焦っている状況がよくある。そんな時に必ず私の周りの人が言う言葉がVai dar tudo certo, a gente dá um jeito! 直訳すると、「全てうまくいくよ、まあどうにかなるよ!」といった感じだ。

不思議なことにこれまでの私の感覚だと絶対このままではうまく行かないと思うのことも、確かにどうにかなるのだ。しかもみんなの満足度は結構高い。

日本では、きちんと準備してもうまくいかないことや、起きた出来事に対してもっとこうすればよかった・ああすればよ

かったと思うことがよくある。何か努力しても、良かった部分を褒めてもらえることよりも悪かった部分を指摘されることの方が多い気がする。

ブラジル人と働いていて、あんまり準備しなくても結構うまくいったのだから、もっときちんと準備したらもっとうまくいくのではないかなと思う時もある。しかし、しっかりと準備しても予定が変更になることも多い。予定通りに進めることを意識しすぎて、予定通りに行かないことにイライラしてしまうくらいならば、軽く準備して、その状況に応じて楽しみながらベストを尽くす方がいいと思うようになった。良くなかった所を振り返ることも大事だが、良かった所を褒め合ったり、自慢し合ったりすることも大事であり、また突然のハプニングすら笑い話にしてしまうブラジル人のポジティブさは多くの日本人が見習うべきだと感じる。

それぞれの国、それぞれの職場によって働き方が違うのは当然である。日本のこれまでの仕事で培った、きちんと準備し、改善点を見つめ直すというやり方も大事にしつつも、柔軟に対応し、良かった所を自分で誇りに思うという働き方も、残り半年のブラジル生活で身につけていきたい。

上野 晏

(ブラジル日本交流協会研修生)

ジャーナリストの旅路

分断深まるブラジルで

4月にサンパウロに赴任するまで、トイレに紙を流してはいけないことすら知らなかった「ブラジル素人」の自分だが、10月の大統領選は左派のルラ元大統領が圧勝するだろうと楽観視していた。

だが、2日の第1回投票でルラ氏は1位で決選投票に進んだものの、右派のボルソナロ大統領との差は少ない。世論調査では、ルラ氏が第1回投票で過半数を得て勝つ可能性を示す予測があったにもかかわらず、である。

調査と実際の得票の乖離について、地元メディアは「隠れボルソナロ支持者」の動向をつかみきれなかったことが原因の一つだと分析した。女性差別発言など、過激で極端な主張が多いボルソナロ氏を支持していると知られたくない人たちのことだ。

それを聞いて、ある出来事が頭をよぎった。

9月7日、建国200周年を迎えた独立記念日に、リオデジャネイロのコパカバーナ海岸で開かれたボルソナロ氏の政治集会を取材した。1万人以上の支持者が集まる中、40代のある女性は笑顔で私にこう述べた。「集会に来ると、自分を解放できるの」

貧困家庭出身の女性は、交友関係を持つ多くがルラ氏の支持者だという。政治的な話題になることは少ないが、ボルソナ

ロ氏の悪口で場が盛り上がることもある。その際は、ジッと我慢する。

「確かにボルソナロ氏は過激な主張が多いけれど、良い政策も行っている。だけど、どんなに力説しても分かってもらえない。むしろ、私がおかしいという目で見られる」

お互いを激しく攻撃し合うルラ氏とボルソナロ氏だが、左右の分断は多くの国で見られる現象だ。アメリカのバイデン大統領は2年前の大統領選で「融和」を訴えて当選したが、国内の分断はむしろ深まっている。

ブラジルでは、政治的な対立によって引き起こされたとみられる有権者間の暴力事件も多発。殺人事件も少なくない。これを書いている時点では大統領が誰に決まったかは分からないが、どちらが就任するにせよ、国民融和は課題として重くのしかかる。

コラムらしからぬ暗い話をしてしまったが、一つ期待していることがある。11月20日に開幕するサッカーのワールドカップだ。ネイマールやリシャルリソンなどのタレントを擁するブラジルは、FIFAランク1位。W杯で優勝して、政治的な分断など関係なく誰もが熱狂して喜んでハグし合う。そんな光景が取材できますように。

軽部理人

(朝日新聞サンパウロ支局長)

マルチ芸人にしてミステリー作家、ジョー・ソアレス(1938-2022)死す ジョーの歴史ミステリー作品の魅力再発見

岸和田仁 (『ブラジル特報』編集人)

筆者が尊敬してやまないマルチタレント(コメディアン、劇作家、演出家、俳優、映画監督、トークショー MC、小説家)ジョー・ソアレスが、8月5日サンパウロで亡くなった。享年 84。

通称ジョー・ソアレス、本名ジョゼ・エウジェニオ・ソアレスは、稀代の演出家兼俳優兼歴史作家、一言でいえば総合的文化クリエイターであった。1938 年リオで生まれたジョーは、コメディアンとしてデビューした

のが 1950 年代末であり、1970 年代以降はグローボ TV のコメディ番組「Viva o Gordo (デブ万歳)」がブレイクし、1988 年には SBT に移籍して深夜のトークショーを始め、2000 年にグローボに復帰してトーク番組「ジョーのプログラム」を 2016 年 12 月まで継続した。このトークショーでインタビューした数は累計 14,426 人とのことだが、政治家(保守派から共産党の伝説的リーダーまで)有名ミュージシャンや

作家はもちろん歴史学者も数学者まで対面し、世界中の有名人とネイティブ並みの語学力(英語、フランス語、イタリア語、スペイン語は完璧)でトークしまくったのだから、まさに国際的なトークショープロフェッショナルだった。筆者も百回以上(多分!)この番組に見入っては、彼の話術の妙に魅惑され続けたと告白しておきたい。

彼の訃報を聞いてからは、追悼番組や過去のトーク番組の再放送を YouTube で見たりしたが、やはりここは歴史作家ジョーの作品世界を再体験しようと思い立ち、筆者の本棚に並んでいるジョーの 4 冊のミステリー小説を改めて手に取って再読し始めた。その 4 冊とは、①『ベーカー街のシャンゴ』(1995 年)(英訳からの重訳『シャーロックホームズ リオ連続殺人事件』(講談社、1998 年)、②『ジェツリオ・ヴァルガスを殺した男』(1998 年)、③『ブラジル文学アカデミー連続殺人』(2005 年)、④『太目女性連続殺人事件』(2011 年)、いずれも長編小説であり、4 冊の累計販売数は 100 万部以上とのことだ。①③④は購入した時即読したのだが、実は②はまだ未読であったので、今回、購入してから 20 年以上も経って、初めて読むことに。読み始めたら、たちまちストーリー展開の面白さに惹かれ、この作品に没頭するハメに陥ったことはいうまでもない。なにしろ、舞台は欧州から米国、ブラジルにまで広が



◀シャーロックホームズ リオ連続殺人事件

クションがほど良くカクテルされた文体で、セリフも沢山でテンポの速い文章が続くのであるから、読むほうも自然と惹き込まれてしまうのだ。

主人公ディミトリ・ボルジャ・コロゼクはボスニア生まれ、父親はセルビア人、母親はブラジル人(で、ジェツリオ・ヴァルガスの腹違いの妹という設定)、職業は暗殺請負人、信条はアナキズム、両手の指が 6 本、という人物だ。

19 世紀末のミナス、ボスニアからプロローグが始まり、1914 年 6 月 28 日のサラエボ事件(第一次世界大戦のきっかけとなった、オーストリア帝国皇太子夫妻暗殺事件)についてはジョー史観に基づき詳細な説明が記され、その 1 か月後の 7 月 31 日、パリのカフェ・クロワッサンにおけるジャン・ジョレス(社会主義者、大著『フランス革命史』著者)暗殺事件が起きる。いずれもヨーロッパ近現代史における大事件だが、そこに芸人スパイ、マタ・ハリもいれば、パブロ・ピカソ、ジャン・コクトーらも登場し、と実在の人物とフィクション上の人物たちも混ざり合って、歴史が語られる。主人公が欧州から 1935 年リオへ移動してからは、1930 年革命によって、第一共和政に終止符が打たれ、政治的にも社会的にも激動していたブラジル社会がヴィヴィッドに語られながら、この歴史ミステリーが進行していく。

ちなみに、巻末の参考文献リストはまさに壮観。英語フランス語ポルトガル語の文献が、80 冊も列記されているのだから。歴史研究者並みに多くの史料を読み込んだうえで、ジョーがこの作品を構想・執筆したことは明らかだが、本書を読めば彼の歴史観も実感できるからだ。

金融ビジネスで成功した父親オランダ・ソアレスの一人息子であったジョーは、13 歳から 18 歳までスイス・ローザンヌの有名中高一貫校で勉学に励んだ“帰国子女”であったが、オックスフォードへの進学を父親の事業破綻によって阻まれた、という苦い経験があった。このことを本書を読んで改めて思い出したが、18 歳から働き始めた青年ジョーは、演劇の世界で働きながらも向学心は衰えず、様々な言語の歴史本や文学を読み続けたのだ。読書人ジョーは歴史研究や文学研究に畏敬の念を抱いていた。そんな芸人作家の知的世界の一端を知ることができたのも、この歴史ミステリー作品を読んだおかげだ。

ブラジルは、演劇界ばかりか文学界にとっても稀代の才人ジョーを失った。地球の反対側から、合掌。



●大統領選挙(10月2日、一次投票)結果 (有効投票数の得票率)

- ①ルーラ元大統領(PT 労働者党) 48.43%
 - ②ボルソナール現大統領(PL 自由党) 43.20%
 - ③シモーネ・テベテ候補(MDB ブラジル民主運動) ... 4.16%
 - ④シロ・ゴメス候補(PDT 民主労働党) 3.04%
- いずれの候補も過半数を得られなかったため、上位 2 者(ルーラとボルソナール)のあいだで決選投票が 10 月 30 日に行われる。

この決選投票に関する世論調査については、10 月 5 日発表された IPEC 社調査によればルーラ 55%、ボルソナール 45% となっており、翌 6 日に公表された PoderData 社の調査ではルーラ 52%、ボルソナール 48%、であった。

●連邦下院議員、政党別獲得議席数 (カッコ内は増減数)

- ① PL(自由党) 99(+23) ② PT(労働者党) 68(+12)
- ③ União(連盟党) 59(+8) ④ PP(進歩党) 47(▲11)
- ⑤ MDB(民主運動) 42(+5) ⑥ PSD(民主社会党) 42(▲4)
- ⑦ REPUB(共和党) 41(▲3) ⑧ PDT(民主労働党) 17(▲2)
- ⑨ PSB(社会党) 14(▲10)
- ⑩ PSOL&REDE(社会主義自由党・ネットワーク党) 14(+4)
- ⑪ PSDB(社会民主党) 13(▲16)

●汚職対策

ボルソナール大統領の一家(息子、前妻)が 1990 年以降、不動産 51 件を現金で購入していたとの件に関し、ボルソナールは 1 日、ラジオ局とのインタビューにおいて、「それらの不動産の半分は、元妻の兄弟が購入したものである。自分(ボルソナール)に何の関係があるのか? 何故、自分の家族にそのようなことをするのか?」と述べた。ボルソナールは 30 日にも「不動産を現金で購入することに何の問題があるのか?」と苦言を呈したが、伯では現金で高額な買い物をすることは金融当局からの監視から逃れるための手段であり、脱税や資金洗浄にありがちな行為と見なされている。ルーラ(PT)は 5 日、「誠実な(ボルソナール)大統領は、政界入りしてから 107 件もの不動産を取得し、最近では 2600 万レアルもの現金を使って購入した。どうやったらそんなことができるのか、彼の家族に聞いてみるといい。自分(ルーラ)はそれがどんな方法かは知らないが、何か腐敗した臭いがあるのは確かである」とコメントした。(9 月 2 日付フォーリャ・デ・サンパウロ及び 6 日付コレイオ・ブラジリエンセ)

●人間開発指数

UNDP が 8 日に発表した 2021 年度の人間開発指数ランキングによると、伯の順位は 2019 年の 84 位から 87 位に後退した。伯の指数は 2020 年の 0.758 から 0.754 に低下。伯の場合、パンデミックの影響により、平均寿命が 2019 年の 75.3 歳から 72.8 歳に低下したことが影響したとされている。(9 月 9 日付コレイオ・ブラジリエンセ)

キャンパス・コラム

留学記：カンピーナス市の日伯文化協会

森部紫央
(東京外国語大学修士 1 年)

サンパウロ州カンピーナス市。私は今年の 3 月から、市内にあるカンピーナス州立大学(UNICAMP)に派遣留学をしている。東京で生まれ育った私には、はじめこそ何もないところのように思えた。しかし、生活に必要なものが比較的近所で手に入る住みやすさと、低い建物の上に広がる広い空、そして人々の温かさを日々の生活から感じ、便利さと穏やかさを兼ね備えたこの街を大変気に入っている。

このカンピーナス市には日系の人々が多く住んでいる。市の中心部には日伯文化協会(Instituto Cultural Nipo Brasileiro)の会館があり、日本の文化は住民にとっても比較的身近なものようだ。この協会にはジュニア会という若者達のコミュニティが存在し、毎週日曜日の午後 3 時間、集まりがある。初めて誘われた時は何をするのかとビクビクしていたのだが、実際行ってみると鬼ごっこや即興劇などをみんなで楽しむというものだった。内容は毎週異なり、障害物競走から日本に関するクイズ、相手の良いところ探しまで多種多様だ。アクティビティはコーディネーターと呼ばれるリーダー達によって毎週企画され、参加者が楽しむというつくりである。必ずしも日本と直接関

係のある活動ばかりではないが、日本にルーツ又は興味のある人達が定期的に集まって共に時間を過ごすというのはとても素晴らしいことだと思い、私も 3 月末からほぼ毎週参加している。そして数か月ほど前からは、コーディネーターと共に企画側にも携わるという貴重な体験もしている。ジュニア会の中には同じカンピーナス州立大学で勉強する学生もいるため、平日もキャンパス内で会って食事をしたり、会館で行われているバレーボールの練習に参加をしてさらに仲良くなったりと週末以外も多くの時間を彼らと過ごすことができている。また、この会館では 6 月に行われるブラジルの伝統行事 Festa Junina や日本祭りなども開催されており、ジュニア会は前日から泊まり込んで、当日もボランティアとして参加するなど、イベントに大いに携わっている。私も積極的に参加し、貴重な経験が沢山できた。

このように大学外にもコミュニティがあり毎週末行くところがあるというのは、一時滞在というよりも住民に近い生活を送りたいと思っていた私にとって本当にありがたいことである。かけがえのない友達に出会えたことは、この留学生活最大の財産だ。

新刊書紹介



◆◆◆◆◆ 新刊書紹介 ◆◆◆◆◆

『ブラジル史』（山田睦男・鈴木茂著）
《YAMAKAWA Selection》の一冊。
2000年刊行の「新版世界各国史 26
ラテンアメリカ II」を再編集したう
えで加筆したものだが、「独立 200 周年」
に合わせ、「日本とも縁があり、多様性
に富んだ国の歩みを今一度みつめる」
ために出版された由だ。第 5 章二十一
世紀のブラジル、が新たに書き加えら
れた章であるが、PT（労働者党）政権
の登場をラテンアメリカの「ピンクの
波」の一環としてとらえている。コン
パクトなブラジル史案内書である。
（山川出版社 2022 年 10 月 240 頁 税込み 1,430 円）

『アマゾンおケイ』の肖像 （小川和久著）

13 歳でブラジル移民となった小川フ
サノは著者（作家・軍事アナリスト）の
母親。16 歳で内陸部の農園を出奔し
サンパウロ市にて自活しつつポルト

ガル語も英語もダンスもマスターし、
21 歳で日本へ自費で帰国。その後上
海で事業家として英米独日の経済界・
政界・外交の要人と渡り合い、日本に
戻って不動産で財を成す、と波乱万
丈の女丈夫の一生を客観的かつ濃厚に
叙述している。史料的価値も高く読み
物としても秀逸なノンフィクションだ。
（集英社インターナショナル 2022 年 9 月 364 頁 2,100 円＋税）

『三人の女たち』（リジア・ファグンジュ・ テーリス著、江口佳子訳）

ノーベル文学賞にノミネートされたこ
ともある知性派女性作家の話題作（初
版 1973 年）が日本語で読めることと
なった。劇的に嬉しい「事件」である。
この小説に登場する三人の若い女性
は、1970 年前後の軍政下での厳しい
言論統制・政治弾圧という社会情勢の
なかで青春を過ごしていく。そうした
時代背景も読み取れるフィクション名
作だ。ただ、ローザ・ルクセンブルクの
ポル語発音盲従表記は違和感あり、他
にも校正ミスが散見されるのは残念。
（水声社 2022 年 9 月 286 頁 3,000 円＋税）

『女たちのラテンアメリカ（下）』 （伊藤滋子著）

下巻に収録されているブラジル人は二
名、アニータ・ガリバルディとシキー
ニャ・ゴンザガだ。1835 年のリオグ
ランデ・ド・スール分離独立運動「ファ
ロウピリャの反乱」に加わったイタリ
ア人革命家ガリバルディに見初めら
れたアニータはイタリアで病没（享年
27）するが、結婚に失敗して生活のた
め音楽家となったシキーニャ（1847-
1935）は、才能を開花させ、女性初の
作曲家・指揮者としてポピュラー音楽
の基礎を築く。史実に忠実な記述だ。
（五月書房 2022 年 5 月 368 頁 2,500 円＋税）

『日本の中の外国人学校 新版』 （月刊イオ編集部編著）

日本における外国人学校の最新事情を
まとめた報告本だが、取材編集を在
日コリアン向け生活情報誌の編集部
が行っている。外国人学校は大きく 4
つのタイプに分類され、①グローバル
化によるインターナショナルスクール、
②ブラジル学校、③老舗の外国人学
校（中華学校、独逸学園ほか）、④
民族教育（朝鮮学校）、である。夫々
の抱える問題点がコンパクトに記載さ
れ、ブラジル編では 5 校（TS 学園、
サンタナ学園など）が収録されている。
（明石書店 2022 年 2 月 250 頁 1,600 円＋税）

!!「ブラジルあれこれ」!!

『O Analista de Bagé』を読んでみた

本誌 9 月号で沼田さんが、作家ルイス・フェルナンド・ベリッシ
モ (LFV) との交流について書かれているのを読んだ。LFV といえば、
ポルトアレグレ勤務当時（1987 年～91 年）、代表作『O Analista
de Bagé』が、空前のベストセラーになっていたほか、新聞や雑誌の
連載、漫画の発刊、舞台での上映等で超多忙な作家となっていた。我
が家にも当時購入した彼の本が 8 冊ほどあり、『O Analista de Bagé』は、
第 55 版だ。1981 年に発刊以来、8 か月で 50 版、1995 年には、100
版、16 万部を売り上げた。この機会に、同書をあらためて読んでみた。

この短編集には、『O Analista de Bagé』、『Outra do Analista de
Bagé』と題した短編が、計 7 編収められている。ウルグアイとの国
境の町 Bagé で精神科医を開業する主人公と患者のやり取りがそれ
ぞれの短編で描かれる。

主人公の精神科医は、ガウーショ言葉連発でボンパッシャス
(bombachas) というリオグランデ・ド・スール州 (RS 州) の牧童
が用いるズボンを身につけ、治療中もマテ茶の道具を手放さない、典
型的なガウーショ (gaúcho:RS 州の人) として描かれる。オーソドッ
クスなフロイド学派を自称するが、その得意の治療法は、治療初日の
「膝蹴り (joelhoço)」という具合にかなりヘテロドックスだ。患者が、
うつ症状のつらさを訴えたのに対し、「さっき施した膝蹴りとどちら
がつらいかね？」と尋ねたり、自分が同性愛者ではないかと尋ねた患
者に対し、「ガウーショに同性愛者はいない。」と答える。

ガウーショの人たちは、自分たちの文化や習慣に誇りを持っており、

どこにいてもその習慣や文化を大事にする傾向（旅行の際にもマテ茶
の道具一式を持っていく等。北伯のベレンでも公園でマテ茶を楽しむ
ガウーショに出会ったことがあり驚いた。）があるが、このような「傾
向」を精神科医といういわば最先端の職業と結びつけることにより生
じる「滑稽さ」がこの短編の人気の秘密であると言われている。

他方、作者は、短編の書き出しで、「Bagé のように、いわれなき評
判から逃れられない町がある。」と書いていることから考えて、この
「滑稽さ」をことさら強調しながら、ガウーショに対するステレオタイ
プの見方にも注意を喚起したかったのかもしれない。

ちなみに、LFV 自身は、ポルトアレグレ出身で現在も同地に在住
するが、子供時代は、アメリカ育ちで、ボンパッシャスは身に着け
たことがないし、マテ茶は好まない、シュ
ラスコにもこだわりはないとある雑誌のイ
ンタビューで答えたそうだ。

この短いコラムの中で作品の持つ独特
のガウーショ感やユーモアを伝えること
は難しいので、読者にはぜひ原文にあっ
たってみることをお勧めする。

沼田さんによれば、同人は再度の来日
を楽しみにしているようなので、来日の
折には、ぜひこの作品のテーマについ
て直接聞いてみたい。(MK)



ブラジル赴任の前に ビジネスで使えるポルトガル語を



ブラジルでビジネスや生活をする上で
欠かせないのがポルトガル語です。

BrAsia (ブレイジア) では、
赴任前と赴任後の語学研修を提供します。
「講師任せにはしない」
現地に精通したスタッフが進捗を管理します。

BrAsia (ブレイジア) 運営: 株式会社 漢和塾 〒104-0061 東京都中央区銀座 1-14-12 楠本第 17 ビル 5 階
TEL 03-6263-0716

お問い合わせは E-mail: brasia@kanwajuku.com HP: <http://brasia-j.com/>

日系ブラジル人採用 ～40年以上の実績～

人材で拓く未来のイノベーション

製造請負・製造派遣・技術事業・
人材紹介／紹介予定派遣
業務委託（管理代行）・特定技能登録支援機関
留学生支援サービス



AVANCE
AVANCE CORPORATION

株式会社アバンセコーポレーション
〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南 1 丁目 11-12
名駅 Minami-One ビル
<https://www.avance-corp.com>

東京オフィス
東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2 号館
TEL: (03) 3286-8686 FAX: (03) 5322-2311



日本ブラジル中央協会

講座のご案内 冬期ポルトガル語講座 受講生募集開始

当協会では、“楽しく学ぼう！学んで話せるポルトガル語！”をモットーに、
実用ポルトガル語講座を開講しております。
冬期ポルトガル語講座は、2023 年 1 月～ 3 月まで開講。

【コースのご案内】

- 全くの初心者コース【火曜 16:30 ～】 秋期からの継続（決められたテキストを使用）
全 9 回 1/10、17、24、31、2/7、14、21、28 3/7
- 初心者コース【火曜 19:00 ～】 秋期からの継続（決められたテキストを使用）
全 9 回 1/10、17、24、31、2/7、14、21、28 3/7
- 初級Ⅰコース【金曜 19:00～】 秋期からの継続（決められたテキストを使用）
全 9 回 1/13、20、27、2/3、10、17、24、3/3、10
- 初級Ⅱコース【水曜 19:00 ～】 秋期からの継続（決められたテキストを使用）
全 9 回 1/11、18、25、2/1、8、15、22、3/1、8
- 中級コース【月曜 19:00 ～】 基本的な日常会話ができる方対象（テキスト不使用）
全 9 回 1/16、23、30、2/6、13、20、27、3/6、13
- 上級コース【木曜 16:30 ～】 上級者のための実力養成コース（テキスト不使用）
全 9 回 1/12、19、26、2/2、9、16、3/2、9、16（2/23 休み）
- 上級コース【木曜 19:00 ～】 上級者のための実力養成コース（テキスト不使用）
全 9 回 1/12、19、26、2/2、9、16、3/2、9、16（2/23 休み）
- 上級会話コース【隔週土曜 11:00 ～】 自由な雰囲気での会話コース（テキスト不使用）
全 5 回 1/14、1/28、2/18、3/4、18（2/11 休み）

イベントのご案内 第 5 回 ブラジル料理教室

毎回人気のブラジル料理教室を 3 年ぶりに開催します。
講師は、計 4 年間のブラジル生活中、定食屋の厨房・学校・各家庭の台所等で
ブラジル料理を学んだ、料理研究・管理栄養士のいしづあきこ先生。
本格的なブラジル料理をレッスンしていただきます。
講 師：いしづあきこ先生
日 時：2022 年 1 月 21 日（土） 11：00 ～ 14：30
場 所：としま区民センター 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1丁目20-10
参加費：4,000 円

法人・個人・学生 新規会員募集中

会 員 数 法人会員 107 社 個人会員 約 415 名（2022 年 10 月現在）

当協会の活動目的「日本・ブラジル両国間の相互理解、友好関係の促進に寄与する」
にご賛同・ご支援頂ける方に、会員となることをご検討いただければ幸いです。

会 員 特 典

1. 協会会報「ブラジル特報」の無料配布。
隔月発行、年 6 回配布。
2. 会員価格にて、講演会等のイベント、ポルトガル語講座に
参加できます。（会員限定イベントへも参加いただけます）
3. 会員交流懇親会へ参加いただけます。
4. 会員宛にメールでお伝えする、様々なブラジル情報をご覧頂けます。
5. ホームページにて、会員限定情報をご覧頂けます。

年 会 費

※入会金は不要です

法人会員 1 口 20,000 円（2 口以上） / 個人会員 1 口 10,000 円
学生会員 1 口 1,000 円

お 申 し 込 み



《 日本ブラジル中央協会公式 HP 》

<https://www.nipo-brasil.org>

日本ブラジル中央協会

検 索

エミレーツ航空が、 南米を近くする。

リオデジャネイロ*
サンパウロ

ブエノスアイレス

FLY BETTER

エミレーツ航空は、サンパウロ、リオデジャネイロ*、南米のブエノスアイレスを含む全世界 150 以上の都市に就航。
シームレスな乗り継ぎで、よりスムーズで快適なビジネストラベルをお楽しみください。

ワンランク上の空の旅へ。エミレーツ・ビジネス

Emirates

*リオデジャネイロへのフライトは、2022 年 11 月 2 日より運行開始。

360° business innovation.



世界の未来を、ブラジルとつくる。

[Business innovation-1]

鉄道と港湾を一体化させ、物流を効率化。

鉄道網と港湾ターミナルの複合一貫サービスを提供するVLI社に出資参画。
たとえばサントス北西のティプラム港で、取扱貨物を次々と拡大。

[Business innovation-2]

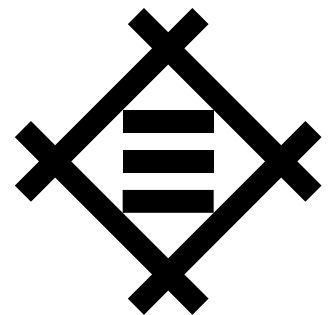
貨車リースで、全土に広がる陸上輸送モデルを確立。

MRCLA社を通じてリース事業を展開。貨車6,000両以上、機関車20両以上で国じゅうを縦横につなぎ、穀物・肥料・鉄鋼製品・燃料などを運搬。物流の安定化に貢献。

[Business innovation-3]

現場のニーズに細やかに応える農薬事業で、農業の発展を。

オウロフィーノ社に出資参画。大規模な農地が多いブラジルで、
気候条件に適した農薬製剤を開発。作物の順調な生育を農薬で支え、
増産や品質向上に貢献。



世界の未来を、世界とつくる。三井物産

MITSUI & CO.